

## 「学校保健委員会の感想」より

230530

5/25(木)にPTAの保健体育委員会との共催で、「あいち交通犯罪死ZEROの会」代表：佐藤逸代様をお迎えして学校保健委員会を開催しました。佐藤様ご自身が、お子様をある日突然、交通事故で亡くされた体験談と「命への思い」を聞く生徒のみなさんの真剣な眼差し、時おり涙を拭いながら聞く姿が印象的でした。

幸田中学校では、一人一人の「命輝く学校」を目指しています。そのために生徒のみなさんが、生き生きと活動して輝いてくれることを願っています。しかし、それは「命」があればこそその輝きです。今回のお話を聞いて、自分の命、仲間の命、周りにいる大切な人の命、そして命のつながりについて、深く考え、お互いの命の輝きを認め、大切にしようきっかけになることを願っています。

### 3年生のあるクラスの学級通信より抜粋

- 事故の瞬間の「コマ送りに見えた」という言葉に鳥肌が立った。自分の家族、友人、彼女が突然いなくなったら自分はどうするんだろう。そんなときに自分を愛することはとても難しいと思った。今までの他愛のない会話がとても貴重だと思えた。
- 家族がいなくなったことへの悲しさが伝わってきた。事故であろうとも、悲しい思いをする人を生みたくない。また、「ありがとう」を伝えることを大切にしたい。自分の気持ちは伝えられるときに伝えなければいけない。
- お話を聞いて、涙が出てきた。一瞬一瞬を大切に生きなければならない。
- 直接お話を聞いて、ニュースで見るよりも何倍もつらいと知った。体験しないと分からない感情があることも知った。もしも、周りにつらい思いをしている人がいたら、無理に同情するのではなく、近くにいてあげられるような人間になりたい。